

201129036B

厚生労働科学研究費補助金

地域医療基盤開発推進研究事業

歯科診療所を中心とした臨床研修施設群を構築するための

歯科医師臨床研修実施体制構築に関する研究

(課題番号: 22213501)

平成22年度～23年度 総合研究報告書

主任研究者 藤井一維

平成24年3月31日

## 目 次

### 分担研究報告

1. 歯科医師臨床研修施設である診療所を中心とした医療連携体制に関する研究 ——— 藤井一維
2. 歯科医師臨床研修施設における医療安全管理に係る研修体制に関する研究 ——— 俣木 志朗
3. 歯科診療所で臨床研修を行っている研修歯科医の分布に関する研究 ————— 平田創一郎

総合研究報告書目次

目 次

I. 総合研究報告

|  |    |
|--|----|
| 1. 歯科医師臨床研修施設である診療所を中心とした医療連携体制に関する研究<br>藤井一維他   | 1  |
| 2. 歯科医師臨床研修施設における医療安全管理に係る研修体制に関する研究<br>- 医療機関及び地域の垣根を越えた研修歯科医によるオンライン医療安全報告・検討会の試み -<br>侯木志朗他 | 17 |
| 3. 歯科診療所で実施された歯科医師臨床研修の事例に関する検討<br>侯木志朗他   | 24 |
| 4. 歯科診療所で臨床研修を行っている研修歯科医の分布に関する研究（平成22年度調査）<br>平田創一郎他  | 30 |
| 5. 歯科診療所で臨床研修を行っている研修歯科医の分布に関する研究（平成23年度調査）<br>平田創一郎他  | 39 |

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）  
分担研究報告書

歯科医師臨床研修施設である診療所を中心とした医療連携体制に関する研究

研究分担者 藤井一維（日本歯科大学教授）  
平田創一郎（東京歯科大学准教授）  
侯木 志朗（東京医科歯科大学教授）  
研究協力者 二宮 一智（日本歯科大学新潟病院准教授）  
五十嵐博恵（Uクリニック 五十嵐歯科）  
岩上 好伸（岩上歯科医院）

研究要旨：平成 18 年度に必修化された歯科医師臨床研修は歯科診療所がその中心を担っている。歯科診療所を中心とした臨床研修施設群を構成するために、病診連携・診診連携と医療安全管理体制並びにそれらの研修指導体制を構築し、新たな歯科医師臨床研修の目標である一般歯科診療に関する研修や病診連携・診診連携、在宅歯科診療等に関しては、歯科診療所での研修が適していると言われており、近年、非常に重要視されている医療安全管理体制についても、歯科診療所での研修はきわめて重要性が高い。しかしながら、研修歯科医の地域偏在から近隣に他の研修歯科医がおらず所謂孤立状態になっている者もいる。合わせて、管理型施設との症例に関する相談や各種報告事項を円滑に行えない環境が存在する。

以上の事から、歯科診療所を管理型臨床研修施設とする臨床研修施設群を構築するための病診連携・診診連携と医療安全管理体制ならびに研修指導体制の整備について検討し、構築したプログラムシステムを利用し、連携体制の構築の有効性を検証した。

#### A. 研究目的

平成 18 年の「今後の歯科保健医療と歯科医師の資質向上等に関する検討会中間報告書」において、歯科医師の地域偏在を解消するための取組の必要性がうたわれている<sup>1)</sup>。歯科医師臨床研修の臨床研修施設群は、管理型臨床研修施設が都道府県をまたいで協力型臨床研修施設と群を形成されている。また、協力型臨床研修施設での研修期間は新歯科医師臨床

研修制度の規定上、最短で 3 か月、最長で 9 か月であり、管理型臨床研修施設よりも協力型臨床研修施設で長期間研修を実施する研修プログラムもあり、一般歯科診療所での研修が重要であることは言うまでもない。すでに、平成 18 年度から 21 年度まで研修歯科医の分布状況に地域偏在が認められること<sup>2, 3, 4, 5)</sup>が明らかとなっているが、その解消策は未だ行われていない。

また、病診連携・診診連携と医療安全管理体制並びにそれらの研修指導体制を構築し、新たな歯科医師臨床研修プログラムの確立を図る事が必要であるが、この地域偏在の遠隔の環境でこれらを円滑に遂行する手段がないのが現状である。

そこで、これらの問題点を解決すべく、インターネット回線を使用した遠隔連携のプログラムを製作し、研究協力者である歯科診療所と管理型施設等の良好なコミュニケーションを確立できる環境整備を行うことを本研究の目的とする。

## B. 研究方法

### 1. プログラム製作のコンセプト(表1)

プログラム製作に当たり、以下の条件を含むプログラムとする。

#### 1) 管理型および協力型間のカンファレンスを遠隔で行えること

(1) テレビ会議の様なシステムを応用することで、相互の映像および音声リアルタイムで共覧できるシステムであること

(2) エックス線または口腔内写真等の高画質画像の相互共有が可能であること

(3) 症例発表等プレゼンテーションが可能でそれらを共覧できるシステムであること

#### 2) メンタル面をサポートできる相談、チャットの使用

(1) 上記のテレビ会議システムを使用することで、face to face の相談が可能であること

(2) 研修歯科医が自宅で指導医や他施設の研修歯科医と相談等が可能であること

#### 3) 医療情報使用等を考慮した通信上のセキュリティの確保について

症例検討等に使用すること、また、メンタルケア等にも使用することから、それ相当のセキュリティが確保されていることが必要であることから、IP-VPN 相当の専用回線であること<sup>6)</sup>

## 2. プログラム製作過程

プログラム製作のコンセプトを基に平成 22 年 5 月から製作委託業者選定に入り、6 月末までに業者選定を行い、9 月までにプロトタイプが完成した。

### 1) 管理型および協力型間のカンファレンスを遠隔で行えるシステムについて

(1) テレビ会議システムの応用で、相互の映像および音声リアルタイムで送られ、タイムラグのない双方向通信が可能である。

(2) エックス線または口腔内写真等の高画質画像の相互共有については、診断に充分である画質である。

(3) パワーポイントによる症例発表を可能にする仮想のホワイトボードを用意し、その上でプレゼンテーションが可能である。また、これは、word、Excel 等のコンテンツも共有することが可能であり、その指揮権を管理型および協力型相互に渡しあえることが可能であることから、指導医からのリアルタイムの添削も可能である。

### 2) メンタル面をサポートできる相談、チャットの使用について

表 1 システム上にあると望ましい機能

|           |  |
|-----------|--|
| ログイン認証    | ID とパスワード利用したログインが可能                   |
| ホワイトボード機能 | 画像貼り付けと相互の書込みが可能                       |
| 共有機能      | パワーポイント、ワード、エクセル等を共有して権限の持つ人が操作(添削)が可能 |
| ファイル送信機能  | カンファレンス中に資料を参加者(個別でも可能)に送信可能           |
| 権限委譲機能    | 全機能が操作可能な権限を設定可能                       |
| チャット機能    | チャット及び個別メッセージの送信が可能                    |
| 記録機能      | 動画(画面)音声の記録が個別の PC に可能(再生は別機能で再生も可能)   |
| アンケート集計機能 | 質問やアンケートの実施が可能                         |

(1) 上記のテレビ会議システムを使用することで、face to face の相談が可能である。

(2) 研修歯科医が帰宅後、自宅でカメラ等がない場合は音声またはチャットの使用が可能である。

3) 医療情報使用等を考慮した通信上のセキュリティの確保について

本システムは、メディアの「@McomPlatform」を使用することで、IP-VPN 相当の専用回線が引かれているもの以上のセキュリティを確保できる。

#### 4) 追加機能

なお、プロトタイプ作成中において、以下の機能の追加が好ましいとの研究班での結論から、改めて、要求した要件は以下の通り。

(1) 臨床研修における協力型施設または研修歯科医に対するアンケートの実施できること。

(2) カンファレンスを実施するにあたり、その記録として動画で記録

することが研修に有効であることから、この記録ができること。

(3) 今回の研究ではモデル協力型施設が 1～2 医院であるが、将来的に実用化するためには数十の施設との連携が必要であり、今後、クライアント数については、1対1のみならず、複数施設同時アクセスを可能とすること。

(4) 歯科医師臨床研修施設における医療安全管理に係る研修体制に関する研究について、このシステムを応用し、実際に研修歯科医を受け入れている歯科診療所において、医療安全管理に関する研修をどのように実施しているのかの検証に用いること。

### 3. システム設置

研究協力者(管理型および協力型施設 1 医院)と本研究主任研究者の所属する管理型施設の大学病院 1 施設にシステムを仮設置し、平成 22 年 11 月にテスト運

用を実施した。

#### 4. プログラムの運用

研究分担者の所属する管理型施設および協力型施設のプログラム責任者、指導歯科医および研修歯科医にシステムを使用できるように、ログインのためのIDとパスワードを付与した。

また、本システムにログインするための専用アプリケーション（ログインプログラム）を配布した。

各協力型施設には研修担当者およびブ

ログラム開発会社が訪問し、使用PCやカメラ等の必要オプション品を貸与した上で、システムについて説明した。

使用については、特に制限はせず、自由に各施設で使用してもらうように依頼した。

管理型施設のプログラム責任者には、必ずメンタル面のサポートを目的としたface to faceの面談を行うよう依頼した。

なお、研修歯科医の自宅でのネット環境は各自で確保した。

図1 システム概念図

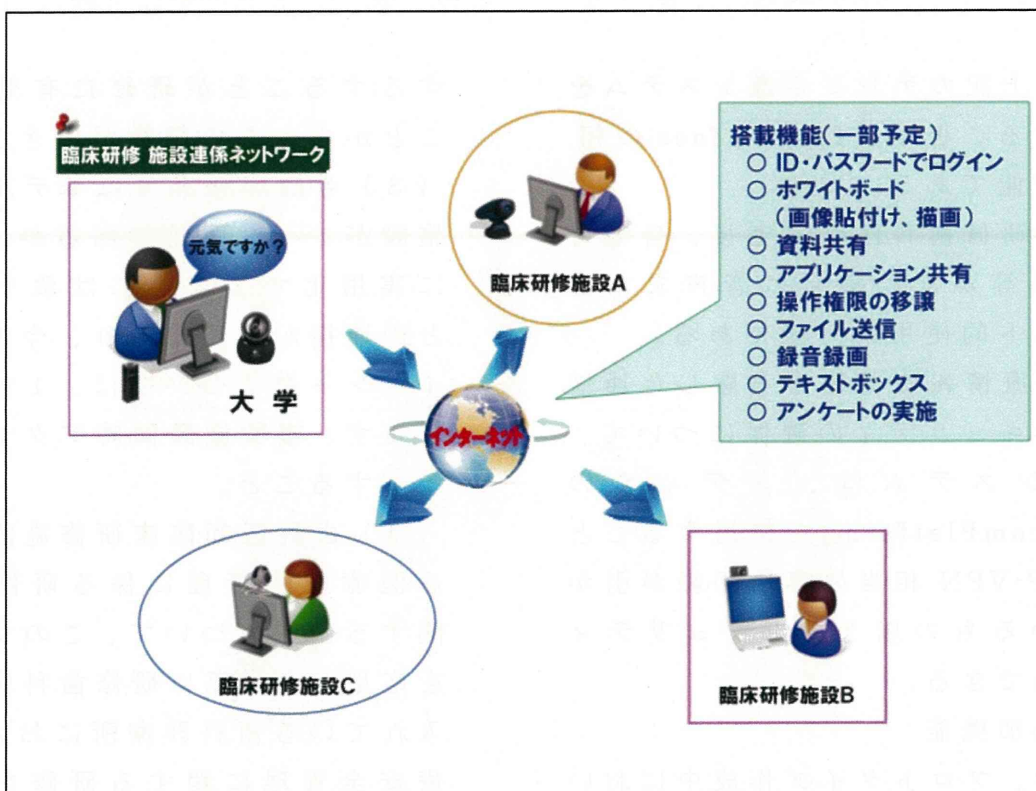


表2 画面構成リスト

|               |  |
|---------------|--|
| ログイン          | ログイン画面でユーザーID・パスワード・名前を入力  |
| 操作権限(議長権)     | 最初に会議室に入室した人に操作権限(議長権)が付与され権限がないと操作出来ない機能があり、権限は移動が可能              |
| 資料共有          | WebページやWord・Excel・PPTのファイルを共有、操作権限を持つ人のみ描画等の操作が可能                  |
| ホワイトボード(画像共有) | 画像貼り付け(joeg, jge, gif, bmp等)・マーキング(全視点同時描画)・ページ追加・文字入力・保存・印刷が可能    |
| アプリケーション共有    | 指定した(事前にDTで開き選択した)特定のアプリケーション(Word,Excel,PowerPoint等)を権限を持つ人が操作が可能 |
| ファイル送信        | 会議中に各種ファイルを個別あるいは参加者全員へ送信可能(サイズ10MBまででzip形式も送信が可能)                 |
| アンケート         | 参加者に質問やアンケートを実施することが可能、投票の結果は集計画面にリアルタイムで反映                        |
| チャット          | 全員での文字チャット、テキスト形式で保存でき議事録にも利用が可能、貼られたURLをクリックすると開くことが可能            |
| 録音・録画         | 参加者が個別に録音・録画が可能、録画時間指定やMedia Playerで再生が可能                          |
| スケジュール        | カレンダー形式のスケジュールから会議予定を登録・閲覧でき、カレンダーから会議室に入室可能                       |
| デスクトップ共有      | デスクトップ画面を共有し権限を持つ人が画面上の全ての機能を操作が可能                                 |

その他、選択可能な画面表示形式、画面キャプチャ、画面拡大、会議招集メール配信などの機能を予定

図2 各展開画面





図3 セキュリティーシステム

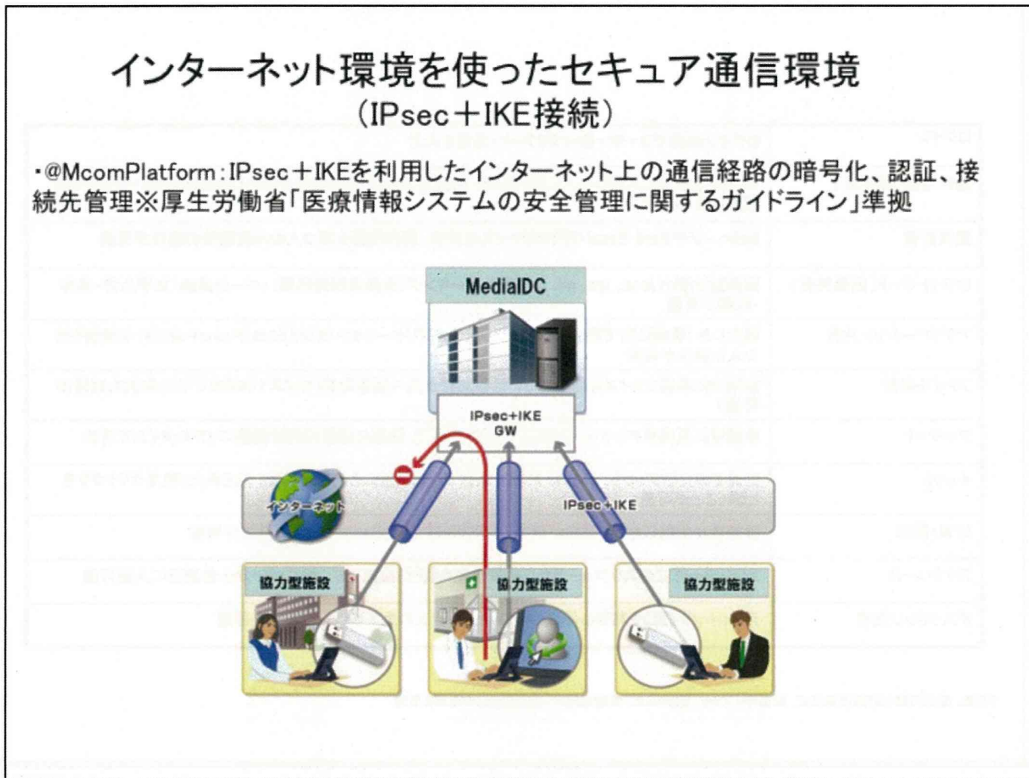


図4 セキュリティー詳細

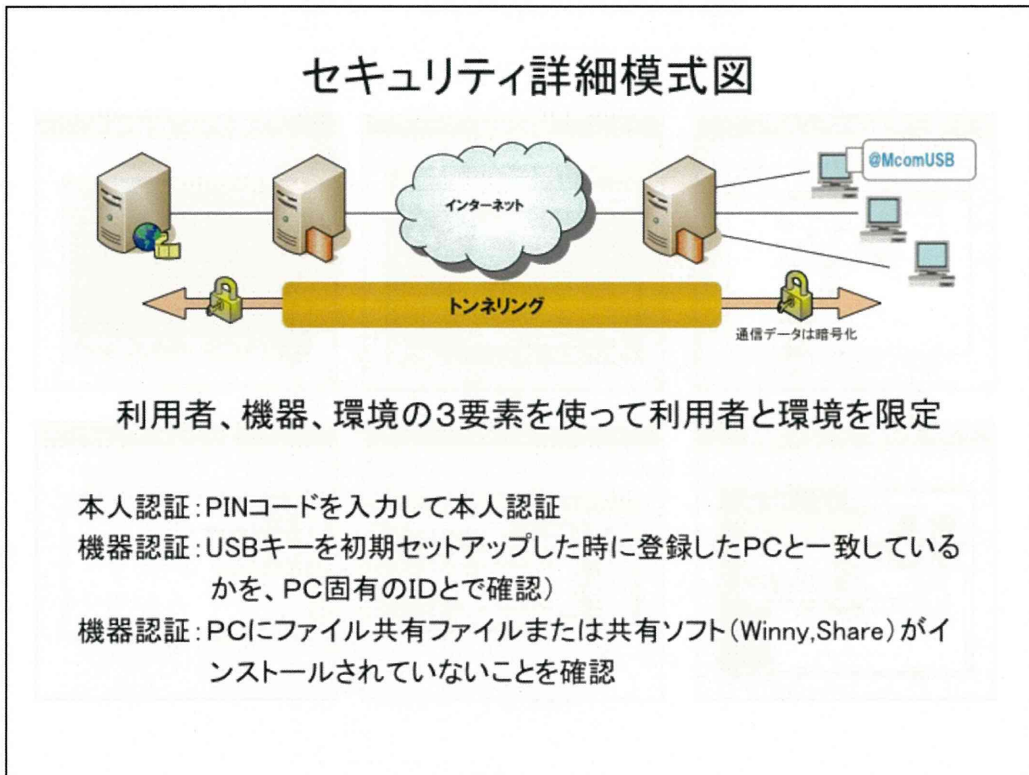


図5 ネットワーク構成

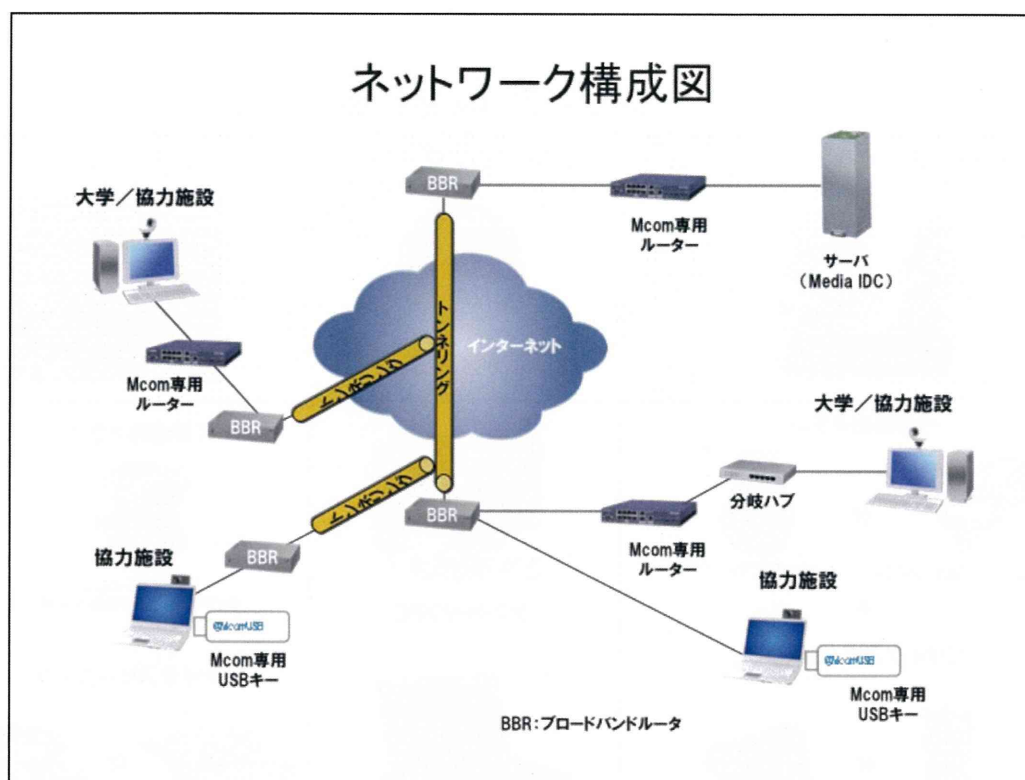


表3 装置環境

|           |  |
|-----------|--|
| OS        | Windows XP / Windows Vista / Windows 7   |
| CPU       | Core 2 Duo 2GHz 以上   |
| メモリ       | 1GB 以上<br>(Vista / 7 では 2GB 以上)  |
| 空き HDD 容量 | 100MB 以上   |
| ブラウザ      | Internet Explorer 6.0 以上 / Firefox 2.0 以上 Opera 9.5 以上<br>/ Safari 3.1 以上<br>Google Chrome 0.2 以上 / Netscape 7.1 以上 Mozilla 1.4 以上 |
| DirectX   | DirectX 9.0c 以上  |
| サウンドカード   | Sound Blaster 互換を推奨  |
| 必要ソフト     | ActiveX (自動インストール)   |
| 周辺機器      | PC カメラ (USB)、マイク・スピーカーまたはヘッドセット<br>(ノイズキャンセラー付またはエコーキャンセラー付を推奨)  |

図6 必要備品等

## システム環境

| 少人数の場合   | どちらにも必要なもの  | 多人数の場合   |
|--|---|--|
|   | <br>がつながる環境と...  |   |
| <b>&lt;Webカメラ&gt;</b><br> or <br>Logicool QCAM-200SX    Logicool QCAM-200R<br>+<br><b>&lt;マイクスピーカー&gt;</b><br> or <br>YAMAHA PJP-10UR    YAMAHA PJP-20UR | <br>デスクトップPC<br><br><br>ノートブックPC | <b>&lt;Webカメラ&gt;</b><br><br>Canon VC-C50i<br>※ビデオキャプチャ機器が必要<br>+<br><b>&lt;マイクスピーカー&gt;</b><br> or <br>Panasonic KX-NT700N    YAMAHA PJP-50USB |

※掲載の周辺機器は利用可能な機器の一部を掲載

### 3. システムの有用性の検証

今回作成したシステムが有用であるかな否かの検証は、アンケートによって実施した。

研究分担者の所属する施設3施設（大学病院である管理型・協力型）とこれら施設の協力型施設および管理型施設である2診療所で本システムを利用した者12名を対象とした。

質問項目は、

- 使用したPCのOS
- 使用した通信環境
- 使用者の立場
- 使用した（通信した）場所
- 使用頻度
- 同時に入室した人数
- システムを使用した目的
- PCのシステム環境の設定
- システムのセキュリティ
- 画面のレイアウトの使用感
- 利用中に共有・送信したソフト（資料）
- システム使用で利用した機能の仕様
  - ホワイトボード
  - 資料共有について
  - アプリケーション・デスクトップ共有
  - 録音・録画・再生
  - テキストボックス
  - ファイル送信

■ HD画質対応マジックビュー

■ アンケート機能

■ 議長権

- 本システム活用が有用だと思う機能
- 本システムの活用で期待できる効果
- システムを使用して良かったこと
- システムの改善すべきこと
- その他

とした。

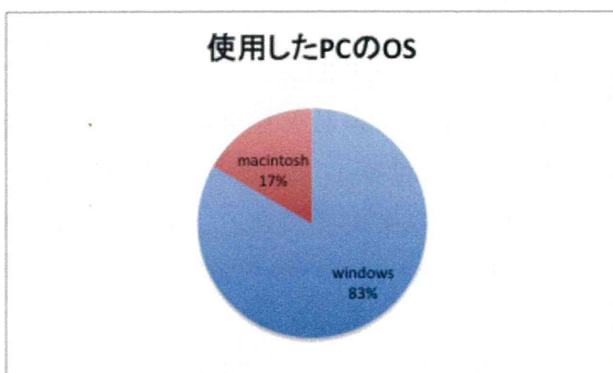
(倫理面への配慮)

本研究における調査は、各歯科医師臨床研修施設から得た情報を用いて行ったものである。提供された結果には、研修歯科医個人の情報は含まれていないが、調査の対象歯科医師臨床研修施設には本研究・調査の目的を説明し、同意を得た上で情報の提供を受けた。なお、本研究は、日本歯科大学新潟生命歯学部倫理委員会の審査を受け承認を得た(許可番号 NCNG・H・85)。

### C. 結果

アンケートは本調査に関与した12名全員から回収した。なお、無回答等の無効なものはない。

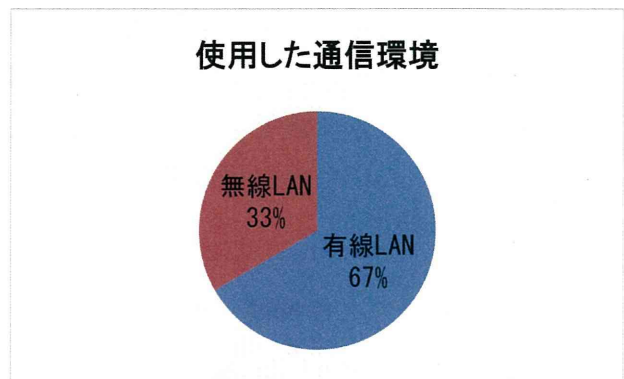
#### 1-1. 使用したPCのOS



使用したPCのOSは、そのシステムの条件から、windowsが最も多かった。本システムは、windows仕様であり、回答でmacintoshとあったものは、macintoshのバ

ーチャルソフトまたは、BOOTCAMPで使用したものである。

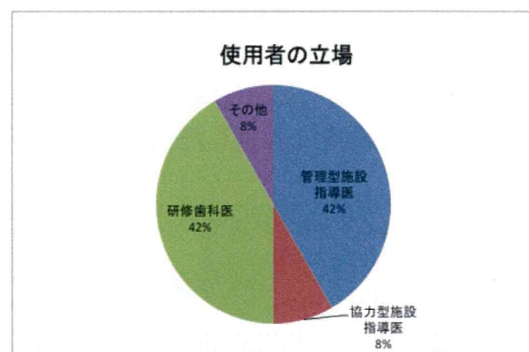
#### 1-2. 使用した通信環境



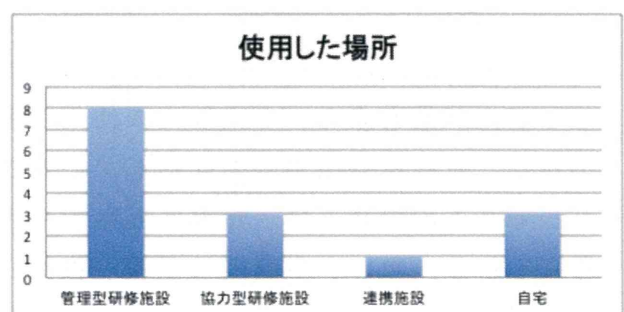
使用した通信環境については、有線LANによるものが2/3を占めていた。特に、本調査のセキュリティは保たれているものの、盗聴等の恐れを懸念したものと思われる。また、院内では、固定PCと使用していることがその理由と考えられた。

#### 2-1. 使用者の立場

事実上、本アンケートの回答者分布である。

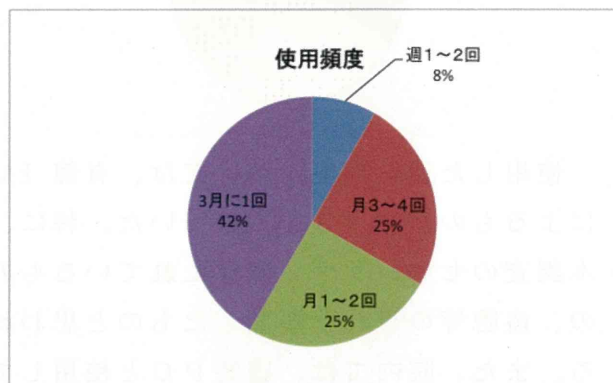


#### 2-2. 使用した場所 (複数回答有)



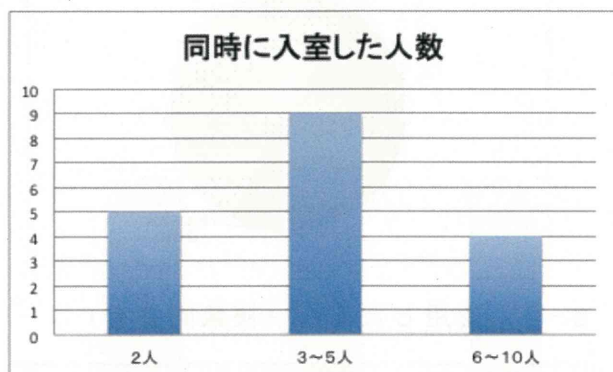
使用場所については、その大半が院内であり、自宅と回答した研修歯科医が3人であったことから、20%の研修歯科医は院内で使用したと考えられる。協力型施設に向向中の場合などで、メンタルをフォローする必要がある場合は自宅での使用が望ましいことから、これらの利用と考えられた。

### 2-3. 使用頻度



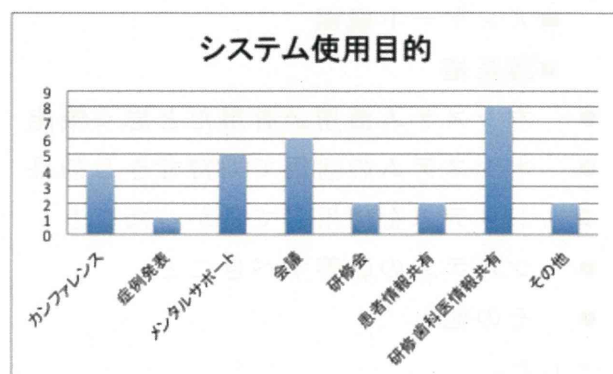
今回の研究では、システムの有効性を検証することが目的であることから、その使用については特に強制しなかったが、概ね50%以上が月に1回は使用した結果となった。

### 2-4. 同時入室した人数



システム使用時に同時に入室した人数は3~5人が最も多く、3人以上の使用が多かった。研修歯科医が5名回答していることから2人の場合とは、指導医との使用と考えられる。なお、本質問は重複（複数）回答である。

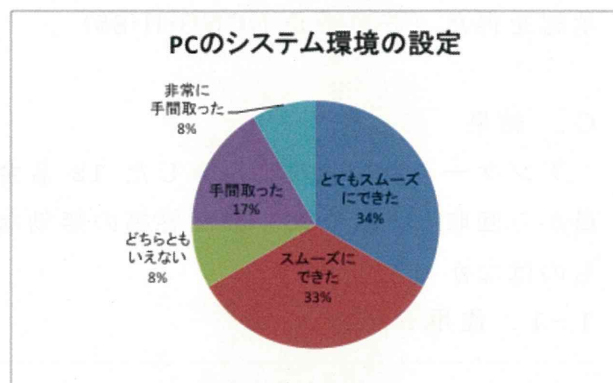
### 2-5. システム使用目的



研修歯科医の情報共有が最も多かった。これは管理型と協力型の指導医と連絡等に使用されたと思われる。会議については、医療安全に関する検討を全施設で同時に行ったことがこの数字に反映されている。

なお、メンタルサポートが5件であったことから、研修歯科医と管理型等の指導医との相談等に使用したと考えられる。

### 3-1. PCのシステム環境の設定



概ね、70%が設定がスムーズであったことから、導入は容易と思われた。非常に手間取ったと回答した1件（8%）は、macintoshの使用者であり、本システム導入前準備のwindowsのインストールから行っていたためと思われる。

手間取ったの2件（16%）は、研修歯科医であり、自宅でのネット環境の設定から行ったものである。

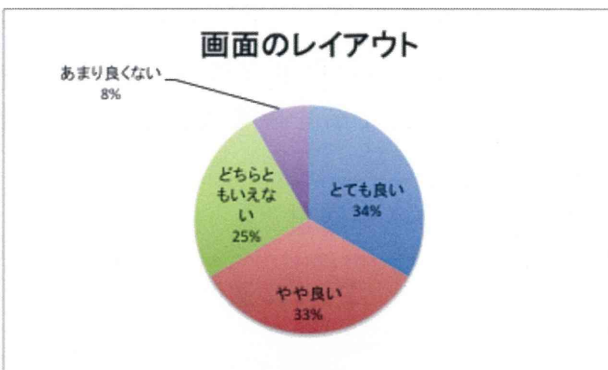
### 3-2. システムのセキュリティ



本来、セキュリティは体感できるものではなく、善し悪しを判断できないが、この質問に対する回答の意図は、専用アプリをインストールし、かつ、システムに ID およびパスワード入力でログインしていることから、良いと判断していると思われる。

プログラム製作時から、このセキュリティには十分な配慮をしており、また、運用開始前にそのシステムを十分に説明した影響もあると思われる。

### 3-3. 画面のレイアウト・使用感



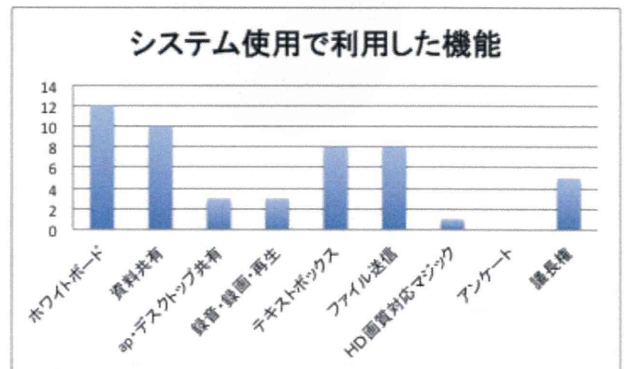
概ね 70% が良いとしており、使用感を含むレイアウトには問題はなかったと思われる。

### 3-4. 共有・送信したソフト (資料)

本質問は複数回答可としており、word の共有が多かったことから、研修歯科医の症例レポートや研修報告等の添削等に主に使用されたとと思われる。



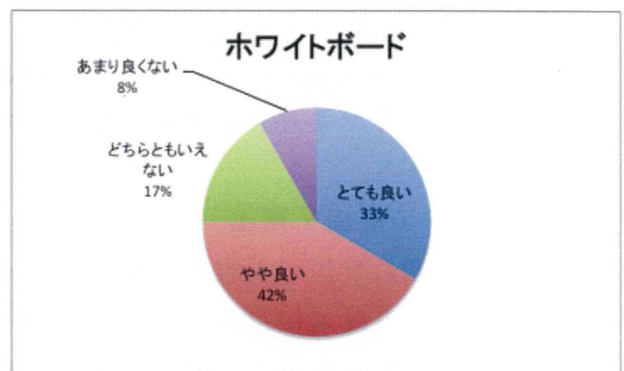
### 3-5. 利用した機能



自由に記載、共有できるホワイトボードの使用が最も多かった。また、会議等で指導医が研修歯科医に指示を出せるテキストボックスの使用も多かった。動画の保存は、本来、使用の検証に用いることができ、特に医療安全に関する会議に有効と思われたが、使用頻度は少なかった。

### 各システムに関する使用感

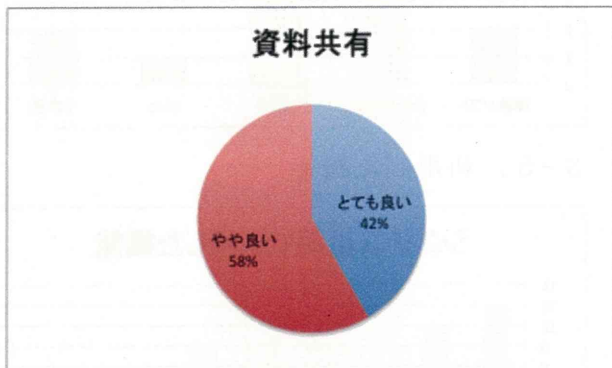
#### 4-1. ホワイトボードについて



1名を除き、悪いという印象はないようである。実際に使用した頻度もホワイトボ

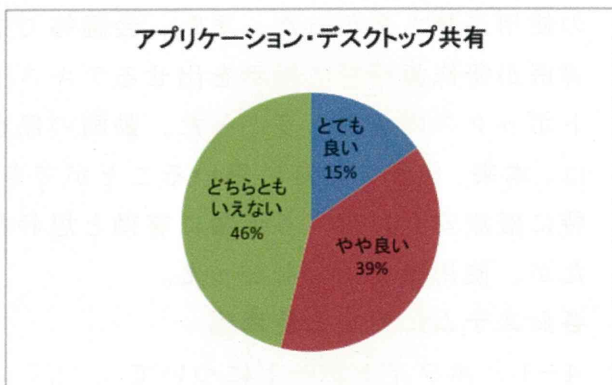
ードが多く、講義やスモールグループディスカッションのような感覚で使用できるメリットがあることがこの結果となったと考える。

#### 4-2. 資料共有



資料が共有できることは遠隔にいる障害を回避できることから、全員が良いと回答したと考える。

#### 4-3. アプリケーション・デスクトップ共有

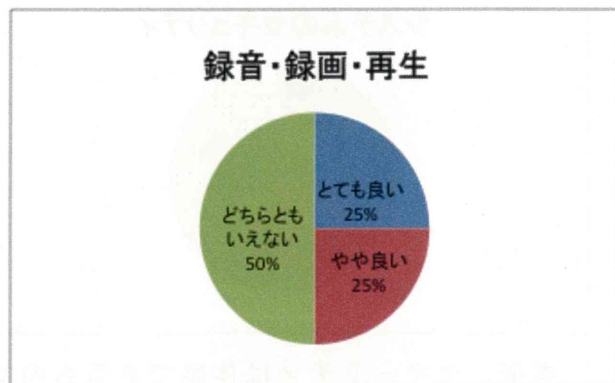


概ね、50%が良いと考えているが、ファイル共有で目的が完了していると思われ、デスクトップまで共有する必要がなかったものと思われる。

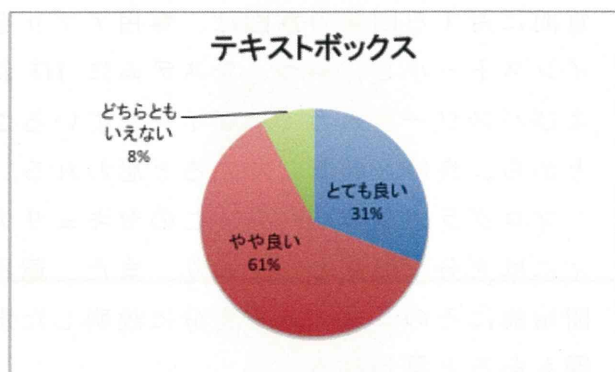
#### 4-4. 録音・録画・再生

このシステム製作で重視した機能の一つであったが、事前の使用方法、目的を提示しなかったこともあって、使用頻度も低かった。その結果、良いとの判定が50%である一方で、どちらともいえないも50%であ

ったことからその有効性が今一つ認識されなかったと思われる。

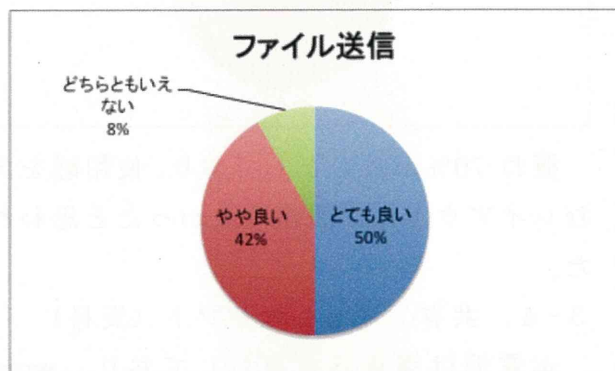


#### 4-5. テキストボックス



テキストボックスは会議中などに研修歯科医や指導医間のメッセージを相互に送ることができることから有用性が高いと思われる、その結果、1名を除く11名が良いと回答したと考える。

#### 4-6. ファイル送信



会議中も含め、相互に使用するファイルを送信できるため、別のメールソフトを介さずにできるメリットがこの高い評価にな

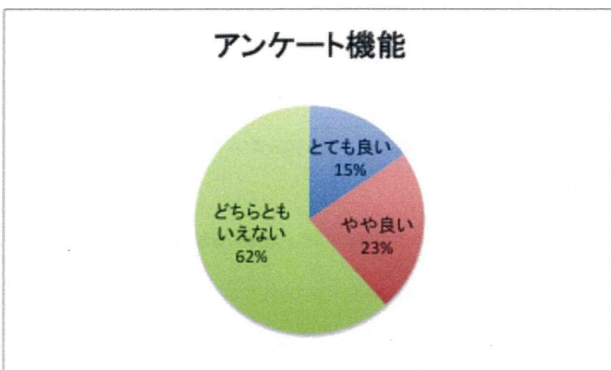
ったものとする。

#### 4-7. HD画質対応マジックビュー



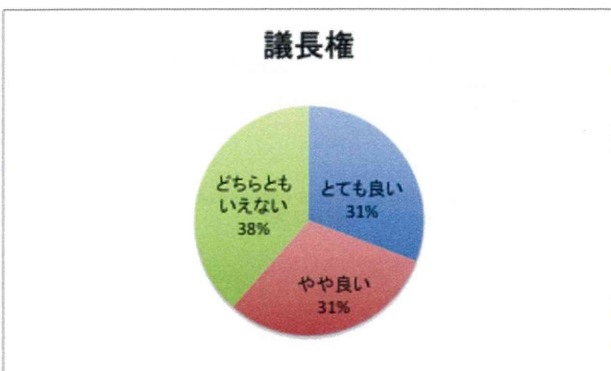
使用頻度は少ないものの、機能やその動画品質に対するの評価と思われる。今回の試用では使用されなかったが、臨床研修の指導には有効な機能である。

#### 4-8. アンケート機能



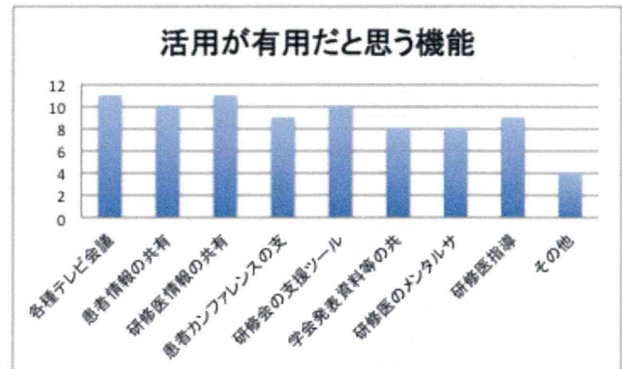
今回のアンケートをこのシステムで実施しなかったこともあり、その結果として、半数以上が評価できず、「どちらともいえない」と回答したものとする。

#### 4-9. 議長権



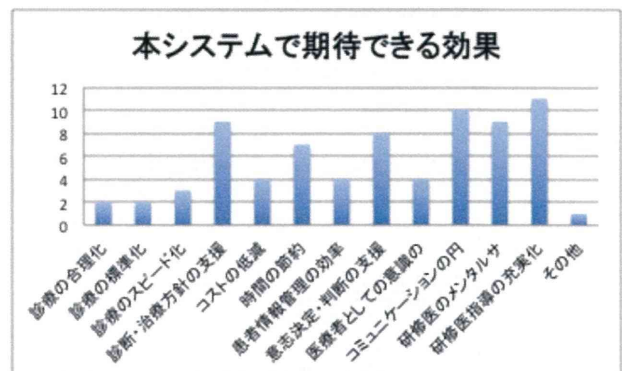
この機能を使用するのは指導医が主であると思われるが、結果として、研修歯科医は全員「どちらともいえない」と回答した。

#### 5-1. 有用だと思う機能



今回、このシステムを検討した主たる目的は研修歯科医の情報共有やメンタルケアを遠隔で行うツールの検討であることから、今回の結果は概ね、その目的が達成できることを明らかにした。

#### 5-2. 活用で期待できる効果



上記の結果から、研修歯科医の指導充実、コミュニケーションの円滑化、研修歯科医のメンタルサポートの支援および診断・治療方針の支援に期待できるとの回答が多かった。このことは、本システムが歯科診療所を管理型臨床研修施設とする臨床研修施設群を構築するための病診連携・診診連携と医療安全管理体制ならびに研修指導體制の構築に有効であること示すものである。



3-5. システム使用で利用した機能はどれですか(複数回答可)。

- 1) ホワイトボード
- 2) 資料共有
- 3) アプリケーション・デスクトップ共有
- 4) 録音・録画・再生
- 5) テキストボックス
- 6) ファイル送信
- 7) HD画質対応マジックビュー
- 8) アンケート
- 9) 議長権

4-1. ホワイトボードについて

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-2. 資料共有について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-3. アプリケーション・デスクトップ共有について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-4. 録音・録画・再生について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-5. テキストボックスについて

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-6. ファイル送信について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-7. HD画質対応マジックビューについて

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-8. アンケート機能について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-9. 議長権について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

管理型・協力型施設連携システムに関するアンケート調査  
該当する項目の回答欄から○を選択してください。  
その他や自由記載はそのまま入力(記載)願います。

1-1. 使用したPCのOSはどれですか(複数回答可)。

- 1) windows
- 2) macintosh
- 3) その他

1-2. 使用した通信環境はどれですか(複数回答可)。

- 1) 有線LAN
- 2) 無線LAN
- 3) モバイル
- 4) その他

2-1. 使用者(あなた)の立場はどれですか。

- 1) 管理型施設指導医
- 2) 協力型施設指導医
- 3) 連携施設指導医
- 4) 研修歯科医
- 5) コメディカルスタッフ
- 6) その他

2-2. 使用した(通じた)場所はどこでしたか(複数回答可)。

- 1) 管理型研修施設
- 2) 協力型研修施設
- 3) 連携施設
- 4) 自宅
- 5) その他

2-3. 使用頻度はどの程度ですか。

- 1) 毎日
- 2) 週1~2回
- 3) 週3~4回
- 4) 週5~6回
- 5) 月3~4回
- 6) 月1~2回
- 7) その他

2-4. 使用時に同時に入室した人は何人(自分含む)ですか(複数回答可)。

- 1) 2人
- 2) 3~5人
- 3) 6~10人

2-5. システムを使用した目的はどれですか(複数回答可)。

- 1) 患者カンファレンス
- 2) 症例発表
- 3) 研修医のメンタルサポート
- 4) 各種テレビ会議
- 5) 研修会
- 6) ライブ処置
- 7) 患者情報の共有
- 8) 研修医情報の共有
- 9) その他( )

3-1. PCのシステム環境の設定はいかがでしたか。

- 1) とてもスムーズにできた
- 2) スムーズにできた
- 3) どちらともいえない
- 4) 手間取った
- 5) 非常に手間取った

3-2. システムのセキュリティはいかがでしたか。

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

3-3. 画面のレイアウトの使用感はいかがでしたか。

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

3-4. 利用中に共有・送信したソフト(資料)はどれですか(複数回答可)。

- 1) 画像ソフト(エックス線、口腔内写真等)
- 2) power point
- 3) word
- 4) excel
- 5) その他

5-1. 本システム活用が有用だと思う機能はどれですか(複数回答可)。

- 1) 各種テレビ会議の支援ツール
- 2) 患者情報の共有
- 3) 研修医情報の共有
- 4) 患者カンファレンスの支援ツール
- 5) 研修会の支援ツール
- 6) 学会発表資料等の共有
- 7) 研修医のメンタルサポート
- 8) 研修医指導
- 9) その他

5-2. 本システムの活用で期待できる効果はどれですか(複数回答可)。

- 1) 診療の合理化
- 2) 診療の標準化
- 3) 診療のスピード化
- 4) 診断・治療方針の支援
- 5) コストの低減
- 6) 時間の節約
- 7) 患者情報管理の効率化
- 8) 意志決定・判断の支援
- 9) 医療者としての意識の向上
- 10) コミュニケーションの円滑化
- 11) 研修医のメンタルサポートの支援
- 12) 研修医指導の充実化
- 13) その他

自由記載(それぞれの項目について記載をお願いします)

- 1) システムを使用して良かったこと
  
- 2) システムの改善すべきこと
  
- 3) その他

ご協力ありがとうございました。

#### D. 参考文献

#### C. 参考文献

- 1) 歯科医師の需給に関する検討会報告書(平成10年5月29日), 厚生省
- 2) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成21年度総括・分担報告書報告書(平成22年3月), 平成21年度厚生労働科学研究地域医療基盤開発推進研究事業
- 3) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成18年度総括・分担報告書報告書(平成19年3月), 平成18年度厚生労働科学特別研究事業
- 4) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成19年度総括・分担報告書(平成20年3月), 平成19年度厚生労働科学研究医療安全・医療技術評

#### 価総合研究事業

- 5) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成20年度総括・分担報告書報告書(平成21年3月), 平成20年度厚生労働科学研究地域医療基盤開発推進研究事業
- 6) 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン. 第4.1版. 平成22年2月. 厚生労働省

#### D. 研究発表

- 1) 平田創一郎, 俣木志朗, 秋山仁志, 新田浩, 大川由一, 藤井一維, 酒寄孝治, 岡田真人, 眞木吉信, 石井拓男:研修歯科医の地域偏在の動向(H18~H20年度), 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 平成22年7月23, 24日, 盛岡市

E. 知的財産権の出願・登録状況  
なし

歯科医師臨床研修施設における医療安全管理に係る研修体制に関する研究

－医療機関及び地域の垣根を越えた研修歯科医による

オンライン医療安全報告・検討会の試み－

研究分担者 俣木 志朗（東京医科歯科大学教授）

研究分担者 平田 創一郎（東京歯科大学准教授）

研究要旨：本研究は、歯科診療所を中心とした臨床研修施設群を構成するために、病診連携・診診連携と医療安全管理体制ならびにそれらの臨床研修指導體制を構築し、新たな歯科医師臨床研修プログラムの確立を図るとともに、患者、国民および研修希望者が求める歯科医師臨床研修制度の実施の改善・推進に向けた研究の一環として行われたものである。本研究では、特に「診療所における医療安全管理の理解」を推進する研修方略の一助とするべく、医療機関および地域の垣根を越えたオンライン医療安全報告・検討会に関する臨床研修プログラムの策定とその試験的運用について検討を行った。今年度は、このオンライン医療安全報告会・検討会の進行方法の検討、管理型臨床研修施設と協力型研修施設を専用通信回線で結び、関連機器を用いた上記オンライン医療安全報告会・検討会の試験的運用について検討した。その結果、今回企画したオンライン医療安全報告会・検討会の有用性が期待された。その一方で、患者および研修歯科医、指導歯科医、スタッフ等のプライバシーに配慮し、個人が特定できないよう、特に個人情報の保護、データ等の匿名性に配慮する必要性が明らかとなった。

A. 研究目的

平成 18 年度に必修化された歯科医師臨床研修制度により、診療に従事しようとするすべての歯科医師に歯科医師免許取得後 1 年以上の臨床研修が義務づけられた。必修化初年度から歯科医師国家試験合格者のほぼすべてが臨床研修を開始したことが報告されている<sup>1, 2, 3, 4)</sup>。

歯科医師臨床研修制度の特徴のひとつは、研修歯科医の受け皿の大部分が大学

病院であることである。近年の歯科マッチング結果では、研修歯科医の 85%以上が歯科大学病院にマッチングしており、さらに医科大学病院を含めると 90%前後になると推測される<sup>5)</sup>。このような研修施設の偏りについては、かねてから予測されており、すでに臨床研修必修化の周知期間である平成 17 年には、医道審議会歯科医師分科会歯科医師臨床研修部会意見書として、大学病院に対して臨床研